

CREATE LASTING IMPACT

Rotary
第2820地区



国際ロータリー第2820地区 2026-2027年度

地区チームラーニングセミナー

国際ロータリー 2026-2027年度

会長 **オンラインカ・ハキーム・ババロラ**

日 時: 2026年3月8日(日)

場 所: ホテルニューつたや

ホスト: しもだて紫水ロータリークラブ

ガバナー **瀬戸 隆海**

ガバナーエレクト **笠倉 勉**

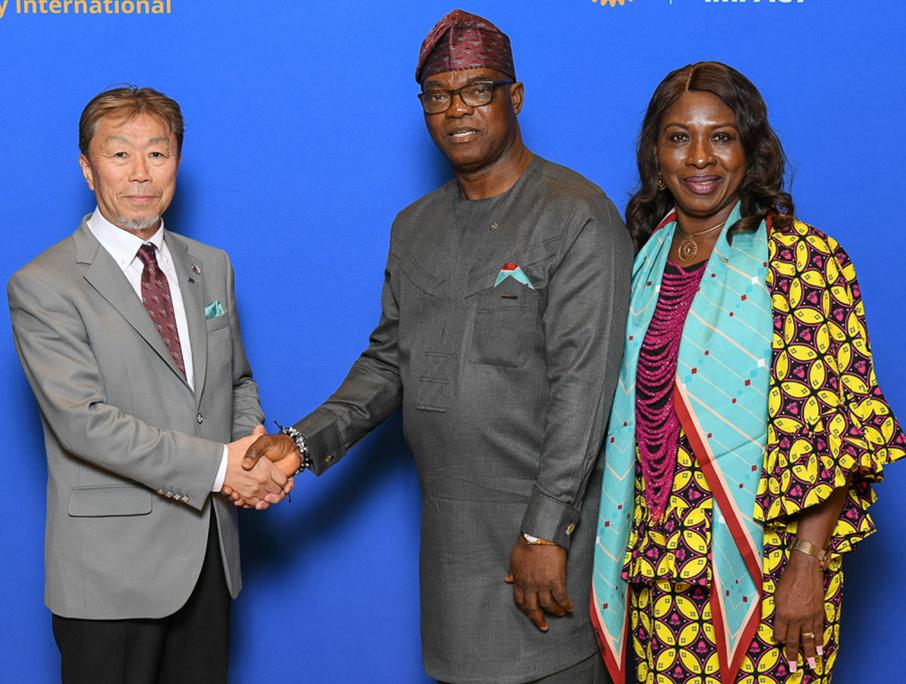
地区ラーニングFT **大高 司郎**

持続可能な
インパクトを
生み出そう

Olayinka H. Babalola
2026-27 President
Rotary International

Rotary 

CREATE
LASTING
IMPACT





R.I. 会長メッセージのスピーチ

2026-2027年度
国際ロータリー会長

オンラインカ・ハキーム・ババロラ

(トランス・アマディRC：ナイジェリア)

プロフィール

オンラインカ・ハキーム・ババロラ
トランス・アマディロータリークラブ
ナイジェリア・リバーズ州

1988年に大学で工学の学位を取得。シェルPLCで要職を歴任するなど、石油・ガス業界で25年間勤務し、4大陸でプロジェクトを実施。リビエラ・テクニカル・サービス社（石油・ガスインフラ供給会社）とリード・アンド・チェンジ・コンサルティング社（管理職コーチングと組織業績アドバイザーグループ）の2社を設立。

ババロラ氏が所属する専門職団体には、ナイジェリア技術者協会、ナイジェリア安全専門家協会、変革管理専門家協会などがある。経済・社会政策について政府に意見を提供する故郷イバダンの組織、「ジェリコ・ビジネスメン・クラブ」のメンバーとなっている。

ローターアクターとして10年間活動し、1994年からはトランス・アマディ・ロータリークラブの会員。2011-12年度に地区ガバナー、2018-20年度にRI理事、2019-20年度に副会長を務めた。2017-23年度にEnd Polio Now：歴史をつくるカウントダウンキャンペーン委員会（2017-20年度副委員長）、2013年～現在はナイジェリア・ポリオプラス委員会（2016年～現在アドバイザー）での役職を歴任。

妻ブレバさんと共にポートハーフコート市に在住。冠名基金とアーチ・クランフ・ソサエティを通じてロータリー財団を支援。シェルターボックスUKの評議員としてボランティア活動も行っている。ポリオのない世界のための地域奉仕賞、RI超我の奉仕賞、ロータリー財団功労表彰状を受賞。

親愛なるロータリーの友人とファミリーの皆さま、おはようございます！2026年国際協議会に皆さまを歓迎し、地区ガバナーエレクトとなられたことをお祝いできることを光栄に思います。

世界中からロータリーのシニアリーダー、スタッフ、そして卓越した会員が集結し、皆さまが来年度に向けて準備を整えるお手伝いをいたします。また、この場を、ぜひ同期の仲間と交流を深める機会としてください。ロータリーの国際性を体験しなければ、会員としてのメリットを十分に享受しているとは言えません。今週、皆さまはロータリーの世界を体感することになります。

この機会を逃さないでください。たくさんの人と知り合い、友情を育みましょう。温かい言葉が、思いもよらないところへと皆さまを導くでしょう。

私が出会ったロータリー会員は、出身がどこであれ、親切で明るく、すぐに親友になれる人ばかりです。

私たちのもう一つの共通点は、ロータリーが私たちを変えたということです。私たちという人間を形づくり、より良い人間にしてくれたのです。変化はここから始まるのです——奉仕を受ける方々だけでなく、私たち自身の中からも。

私たちのビジョン声明を考えてみてください：「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」



私たちは「世界を変える」ことをよく話題にします。ポリオ根絶や平和構築について語ります。

地域社会を変えることについて話します。そこには無数の素晴らしい実例があります。

しかし、私はこう問います。「自分自身の中に持続可能な変化をどう生み出しているのだろうか」

ロータリー会員にこの質問をすると、たいてい場が静まり返ります。

その沈黙が物語るのは、ロータリーが自分自身をどう変えたかについて、私たちはあまり考えないということです。

ロータリーが・どのように私たちのキャリアを変えているか

・どのように私たちのビジネスを変えているか

・どのように私たちの家族を変えているか

それは最も暗い時代における光にもなります。米国ノースカロライナ州のキャリーキルデア・ロータリークラブ会員、ティア・コッパスさんにとってもそうでした。

2021年、ティアさんの夫は、19カ月に及ぶ闘病の末、癌で亡くなりました。夫の介護とCOVID-19のパンデミックによる隔離生活により、ティアさんは19カ月間、ほとんど誰とも会っていませんでした。

そんな時、ティアさんが所属するロータリークラブの親友が電話をかけてきてこう言いました。「来週木曜日の夕食会に来てください。あなたに会いたいです」

緊張と不安の中、ティアさんはロータリーの夕食会に足を踏み入れました。しかし、席に着く間もなく、初めて会う新会員が彼女を抱きしめ、こう言ってくれました。「来てくれて本当によかった！」

その瞬間、ティアさんは、自分が一人ではないこと、自分にはコミュニティがあることに気づきました。ロータリーこそ、彼女のコミュニティだったのです。

その夕食会の後、ティアさんはこの体験が自身に与えたインパクトについて、こうつぶっています。「ロータリーは、あなたが最も必要とする時に、静かに、愛情をもってそばにいてくれるのです。普段は自分が“与える”側にいたとしても、“受ける”側になってもいいんだと教えてくれるのです」

そしてこう続けます。「ですから、つながりと奉仕、居場所を求めているなら、ロータリーがその答えとなるでしょう」。この言葉に共感できる方も多いと思います。

友人の皆さま、ロータリーは世界を変えるために活動していますが、ロータリーが自分自身をいかに変えたかを伝えることを恐れないでください。

経験から言えることですが、ロータリーは私を深く変えました。

私は十代でローターアクターとして活動を始めました。恵まれた環境で育ち、良い教育を受けましたが、そのような機会を得られない人は大勢いました。

気づきをもたらしたのは、クラブの識字プロジェクトでした。地域社会の人びとに読み書きを教える支援をしました。母国の同世代の人たちが読み書きのスキルを持たずに成長すべきではないと考えました。

このプロジェクトが私を変えました。その変化は、教育へのアクセスを拡大するという責任を伴うものでした。この取り組みは、今日において特に重要です。ユニセフの推計によると、教育資金の削減により、今年末までに世界で約600万人の子どもが退学を余儀なくされる可能性があります。この教育危機に対処するには、「寄付」から「奉仕」へと意識



を変える必要があります。

南アフリカのナイズナに素晴らしい事例があります。そこでは、ロータリークラブが教育分野で持続可能なインパクトを生み出しています。ナイズナ・ロータリークラブは2019年、地域のパートナーと協力し、2025年までに地域のすべての子どもが質の高い幼児教育を受けられるようにする方法を模索しました。地域社会からの協力も得て、問題の理解に努め、行動を起こしました。

その結果生まれたプロジェクトは、恵まれない地域の女性たちの力を解き放ち、幼児教育センターの開設と運営を実現させました。今日、このプロジェクトは何千もの子どもと家族を支援しています。今後も何世代にもわたり、教育を提供し続けるでしょう」

このインパクトを世界のほかの地域でも再現できれば、地域社会から信頼と評価を得ることができます。

そして、より多くの地域社会がロータリーを信頼すれば、入会したいという人が増えます。しかし、まずはそのような人びとを受け入れなければなりません。

当たり前のように聞こえるかもしれませんが、これは私たちが長年苦勞している課題です。若きローターアクターとしてロータリーに入会しようとした時、私は抵抗に遭いました。ある日、私はクラブの昼食例会に行きました。以前にも招待を受けて参加したことがありました。若いローターアクターだった私を見て、そのクラブの会長は「ここで何をしているんだ？」と言いました。

ロータリーに入会するためだと、私は答えました。会場にいた全員が振り向き、私を見ました。彼はこう言いました。「何という厚かましきだ！ただ入会できるわけがないだろう。招待が必要だ」と。

そこであきらめることもできましたが、私はこう言い返しました。「子どもが親の家に入るのに招待が必要だとは知りませんでした」

会場が沈黙に包まれる中、ソジ・フォウォデさんというロータリアンがこう声を上げました。「インカ、私が君を推薦するよ」

こうして私はロータリアンになったのです。

しかし、もしソジさんが声を上げてくれなかったら？私が会員になることはなく、今日こうして皆さまの前に立つこともなかったでしょう。

当時よりは良くなりましたが、一部のクラブは、世界をオープンに受け入れるどころか、今も閉ざされたままです。

若い人の意見が尊重されなかったり、考えや背景が異なる人が歓迎されなかったりすることがあります。このような状況では、入会する見込みのある人びとを入会前に失ってしまうことになるのです。

ロータリーにはもっと多くの会員が必要です。理事会は、2030年までにロータリアンを125万人、ローターアクターを12万5千人にするという会員増強目標を掲げています。この目標の達成は、私たち全員から始まります。

ですから、この国際協議会の開幕にあたり、皆さまには、人びとをどのように迎え入れるかを考えていただきたいと思います。例会や奉仕プロジェクトでの皆さまの態度ひとつで、誰かのロータリーのストーリーが始まるかもしれないし、終わるかもしれないのです。

これが、私たちが目標を達成する方法です。皆さまが地区の目標達成を導けば、ロータリー全体の目標を共に達成できます。しかし、地区の目標が何であれ、特に会員増強につい



ては、ご自分のベストを超えていただきたいと思います。

従来、最も多くの資金を集め、最も多くの会員を集め、最も大規模なプロジェクトを実施するクラブが称賛されてきました。

これは重要なことです。ただし、最も健全な競争は、クラブ間ではなく、過去と現在との間であるべきです。

過去5年～7年を振り返っていただくよう、それぞれの地区とクラブにお願いします。会員増加で最高を記録した年度はいつでしたか？ファンドレイジングで最高を記録した年度はいつでしたか？最も大きなインパクトをもたらしたプロジェクトは何でしたか。

それらの年度がわかったら、その最高記録を超えていただきたいのです。

皆さまは、人生のうち1年間を地区ガバナーとして過ごします。皆さまがリーダーを務めるこの1年を振り返った時、人びとにどのような年度であったと言ってもらいたいのですか？人びとがいかに多くのことを覚えているかに驚くでしょう。

最高だった年度の入会者が10名だったなら、少なくとも11名を目指すべきです。数年前に5万ドルを募金したなら、次年度は5万5千ドルを目指してみてください。ほかよりも優れていることを証明するためではなく、自分たちが最高の形になるためです。

こんな格言あります：

「グッド」から「ベター」、そして「ベスト」へ。

歩みを止めてはならない。

「グッド」が「ベター」になり、「ベター」が「ベスト」になるまでは。

この考え方は、クラブや地区に当てはまるのと同様、私たち自身にも当てはまります。

「変化」と「インパクト」を常に意識するマインドセットが必要です。

「変化」と「インパクト」は同じではないということ覚えておくことが大切です。変化は始まりに過ぎません。インパクトこそが永続するのです。

ロータリーの大規模プログラム補助金による「健康な家族のための協力」が数年間実施されているナイジェリアでの事例を紹介します。

プログラム開始から間もない頃、私は試験的都市にある保健センターを訪問しました。自分の目で見なかったのです。

主任医師は、私がロータリー会員であるということだけ知っていました。

彼は私を温かく迎え、約18カ月前からロータリーと協力していること、協力の開始後間もなく乳児死亡率と妊産婦死亡率が急激に低下したことを話してくれました。

ロータリーが介入する前は、多くの女性が妊婦健診を避けていました。しかし、健診は母子ともに安全な出産に欠かせません。ロータリーの支援により、妊婦が健診に通うシステムが整い、地域社会からの協力も得られました。受診率がアップし、死亡率が下がりました。

医師と話した後、私は、このプロジェクトが今後数十年にわたりナイジェリア全土で命を救い続けるであろうことを、はっきりと見ることができました。これこそが、私が「持続可能なインパクト」と呼ぶものです。

ロータリー会員である私たちは、より良い未来というビジョンを共有しています。それは、ポリオのない世界、平和な世界、誰もが質の高い教育を受けられる世界です。

そのビジョンを現実にするには、自身の内なる変化を意識し、解き放たなければなりません。「成果」だけでなく、「インパクト」を重視すべきです。

ティアさんがロータリークラブの夕食に招待されたことの「成果」は、彼女は孤独を感じ



なくなりました。しかし、その「インパクト」は、彼女とクラブの仲間が生涯にわたって希望とコミュニティ意識を持ち続けることです。

ナイジェリアでの「健康な家族のための協力」の「成果」は、乳児と妊産婦死亡率の低下です。しかし、その「インパクト」は、今日だけでなく、世代を超えてずっと、子どもたちが母親の愛情と導きのもとで育つということです。

私たちは、2030年の会員増強目標を必ずや達成します。その達成による「成果」は、世界のロータリー会員が増えることであり、ロータリーがある場所では良いことが起こることを私たちは知っています。その「インパクト」は、今後も長年にわたり、より強くて効果的なロータリーが築かれることです。

友人の皆さま、その未来は私たちから始まります。しかし、それは私たちのロータリーでの活動が終わった後もずっと続かなければなりません。この理由により、2026-27年度の会長メッセージは「持続可能なインパクトを生み出そう」です。

持続可能なインパクトを生み出す方法は数多くあります。世界的には、ポリオ根絶という約束を果たすこと、そしてロータリー平和センターの恩恵を最大限に活かすことを意味します。クラブと地区では、より多くの人を迎え入れ、2030年会員増強目標の達成に向けて役目を果たすことを意味します。

そして皆さまは、人びとが好奇心を持ち、問いかけをし、ロータリーファミリーに与えられた無限の可能性を受け入れて自分自身の中に持続可能なインパクトを生み出せるよう、インスピレーションを与えることができます。

結果を出し、自分の中に持続可能なインパクトを生み出すことへの意欲をクラブと会員にどう喚起できるかを考えてください。

進歩は自ずと起きるものではありません。それ自身の内なる変化から始まります。

親愛なる地区ガバナーエレクトの皆さま、成功とは向こうからやって来るものではありません。自分でつかみに行かなければならないのです。

自分を変えられれば、クラブと地区を変えられます。地区を変えられれば、地域社会を変えられます。そして、地域社会を変えられれば、世界で、地域社会で、自分自身の中で、持続可能なインパクトを生み出すことができます。

朋友の皆さま、ありがとうございます。国際協議会へようこそ。

オラインカ・ハキーム・ババロラ
2026-27年度会長
国際ロータリー

2026-27年度国際ロータリー

オラインカ・ハキーム・ババロラ会長メッセージ

持続可能なインパクトを生み出そう
(CREATE LASTING IMPACT)



地区チームラーニングセミナーに寄せて

2025-2026年度

国際ロータリー第2820地区

ガバナー **瀬戸 隆海** (水海道RC)

本日は、地区チームラーニングセミナーにお集まりいただき、ありがとうございます。いよいよ、笠倉年度の実質的なスタートであります。皆様方は笠倉年度を支え、活動推進を推し進める方々であります。今回のセミナーの出来次第で、笠倉年度が円滑に推進できるかが決まるわけであります。

さて、2026-27年度のRI会長メッセージがでました。つまり皆様方の年度の指針になるわけであります。「CREATE LASTING IMPACT (持続可能なインパクト)」、そして「世界をオープンに受け入れるロータリー」です。

今回のメッセージは、2025-26年度のUNITE FOR GOODと、どう関連性があるのでしょうか。2025-26年度から会長テーマを廃止し、当面は同じ方向性のメッセージが出ると聞いていました。UNITE FOR GOODから次年度は CREATE LASTING IMPACTに変わりました。表現は違っても、これは別々のメッセージではなく、むしろ「同じ方向を向いた連続したメッセージ」と捉えるべきだと思います。

UNITE (団結) は目的ではなく、手段です。力を合わせることで、より大きな「良いこと」を行い、その成果を“未来に残る価値”へと昇華させていく。その到達点こそがIMPACT ではないでしょうか。つながりが信頼を生み、歓迎の姿勢が参加を生み、行動が変化を生むのです。ロータリーの価値は、そこで生まれる「持続可能なインパクト」にあるのでしょうか。ババロラ会長エレクトの発信は、まさにその一点に集約されていると感じました。また、「変化」と「インパクト」は同じようで全く異なり、変化は“きっかけ”、インパクトは“未来に残る結果”なのだと、強く感じました。

私たちが取り組む奉仕や会員増強も、実施した瞬間の成果で終わらせず、地域の中で根づき、継続し、次の世代へつながっていく形にしてこそ意味があります。変化に満足するのではなく、その変化を積み重ねて「持続可能なインパクト」に高めていく……。この視点を常に忘れずに行動していきたいと思えます。

笠倉ガバナー年度において、「持続可能なインパクト」に高めていくために、今回の地区チームラーニングセミナーにおいて、笠倉エレクトは、地区ガバナーとして地区目標設定を各委員会において設定していただきたいと思えます。

今やロータリーは大変革の時であります。



地区チームラーニングセミナーに寄せて

2026-2027年度
地区ラーニングファシリテーター
大高 司郎 (高萩RC)

本日は、地区チームラーニングセミナーにご参集いただき、誠にありがとうございます。地区ラーニングファシリテーターとして、この学びの機会を皆さまと共有できますことを、大変うれしく、また心強く感じております。

本セミナーは、笠倉勉ガバナーエレクトが主催する初めてのセミナーであると同時に、笠倉年度を支える地区チームの皆さまが一堂に会する最初の行事です。

地区チームラーニングセミナーの主な目的は、次の三点に集約されます。

第一に、RI会長エレクトメッセージの趣旨を理解するとともに、ガバナーエレクトの年度方針および重点目標を共有し、地区全体で同じ方向を向いて次年度への準備を進めること。
第二に、ガバナー補佐ならびに各委員長・委員が、それぞれの役割と責任を明確に認識し、地区組織が円滑かつ効果的に機能する体制を整えること。
第三に、地区リーダー同士の横のつながりを築き、「地区チーム」として協働できる関係を構築することです。

ロータリーは、重要な課題に取り組むための枠組みとして「ロータリー行動計画」を策定しています。この行動計画は、組織としての成長を促し、ロータリーが地域社会にもたらす変化を、より効果的に伝えていくための戦略的なロードマップです。

私たちの優先事項は、「より大きなインパクトをもたらす」「参加者の基盤を広げる」「参加者の積極的なかかわりを促す」「適応力を高める」の四つであり、これらの実現に向けて、会員一人ひとりの主体的な取り組みが求められています。

そのためには、一方的に知識を学ぶのではなく、参加者自身が考え、語り合い、気づきを得ながら行動につなげていく学びが不可欠です。地区チームが関わるセミナーにおいても、講義中心ではなく、対話型・参加型の学びを重視していただきたいと思います。

「ロータリーはクラブが主体であり、地区はクラブのためにある」という基本的な考え方を改めて共有し、クラブ活性化に向けて、それぞれの立場からクラブをどのように支援できるかを考え、積極的に実践してまいりましょう。

最後に、本日ご参加の皆さまには、次年度地区チームの一員として、My ROTARYのラーニングセンターにて役職別学習プランを受講し、学びを深めていただくことをお願いいたします。本日の学びを起点として、日々のラーニングを重ねていただければ幸いです。



地区チームラーニングセミナーに寄せて

2025-2026年度

国際ロータリー第2820地区

ガバナーエレクト **笠倉 勉** (しもだて紫水RC)

本セミナーを皮切りに、いよいよ2026-2027年度ガバナーとしての公式行事が始まります。

本日は、瀬戸ガバナー、大高ラーニングファシリテーター、パストガバナーの皆様、地区ラーニング委員の方々、清野ガバナーノミニエ、ガバナー補佐、総括委員長、並びに地区委員の皆様におかれましては、ご多忙の中、地区チームラーニングセミナーに御出席を賜り、誠に有難うございます。

このセミナーは地区内のロータリーリーダーが次年度の具体的な活動計画を策定し、組織としての方向性を共有することを目的としております。地区内のクラブが健全に機能し、地域社会に対して持続可能な奉仕活動を展開していくための、大変貴重な機会であります。

私は1月11日から15日まで、米国オーランドで開催された国際協議会に参加してまいりました。国際協議会は、ガバナー就任に向けた最後の仕上げとなる極めて意義深いラーニングの場であります。

オンラインカ・ハキーム・ババロラ R I 会長エレクトは、開会本会議において、2026-2027年度 R I メッセージとして「持続可能なインパクトを生み出そう」と高らかに発表しました。

メッセージの発表は、2025-2026年度に続き2年目になりますが、私はこれは「同じ報告を向いて発信される連続したメッセージ」と捉えるべきだと思います。UNITE（団結）は目的ではなく、手段です。力を合わせることで、より大きな良いことを成し遂げ、その成果を「未来に残る価値」へと変えていく、その先に、真のインパクトがあります。

ロータリーの会員である私たちは、より良い未来という共通のビジョンを共有しています。そのビジョンを現実のものにするためには、自身の内なる変化を意識し、単なる成果ではなく、「インパクト」を重視する姿勢が求められます。

自分が変われば、クラブが変わり、地区が変わり、そして地域社会も変えていくことができます。智恵を出し合い、思い込みにとらわれた簡素化を見直しながら、共に新しいロータリーの姿を築いてまいりましょう。



2026-27年度の国際ロータリーとロータリー財団の年次目標

ロータリー行動計画

私たちは世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って、行動する世界を目指しています。

より意義あるつながりを育み、奉仕を通じてより持続可能な変化をもたらすためにロータリーを導くのが、私たちの戦略計画である「ロータリー行動計画です。」

この四つの優先事項を指針とすることで、より健全なクラブをつくり、すべての人が積極的に参加できる体験を提供し、行動を通じて持続的な変化を生むために人々を結びつけるという国際ロータリーとロータリー財団のビジョンを実行することとなります。

優先事項1 「より大きなインパクトをもたらす」

- ・ポリオを根絶し、残された遺産を活用する。
- ・ロータリーのプログラムおよびロータリーが提供する体験に焦点を当てる。
- ・活動成果を挙げ、それを測る能力を高める。

優先事項2 「参加者の基盤を広げる」

- ・会員基盤と参加者の基盤を広げ、多様化する。
- ・参加者がロータリーを体験する新しい方法を作り出す。
- ・クラブの柔軟性とアピール力を高める。
- ・インパクトとブランドに対する理解を築く。

優先事項3 「参加者の積極的なかかわりを促す」

- ・クラブが会員の積極的参加を促せるよう支援する。
- ・個々の参加者をよりよく理解し、サポートする。
- ・個人的/職業的なつながりを築く新たな機会を提供する。
- ・リーダーシップ育成とスキル開発のための学びの機会を提供する。

優先事項4 「適応力を高める」

- ・研究と革新、およびリスクをいとわない文化を築く。
- ・ガバナンス、構造、プロセスを合理化する。
- ・意思決定におけるより多様な考え方を育む。



2026-2027年度 年次目標

■地区ガバナーズローガン

エンジョイ ロータリー!!! そしてスマートに…

【解説】

「楽しくなければロータリーでない」

この言葉を、皆さんもこれまで何度も耳にしてこられたことでしょうか。

では今、私たちは本当にロータリーを楽しめているのでしょうか。

かつてのロータリー活動には、心のゆとりがありました。奉仕活動や親睦活動はもちろん、例会や各種の集まりが生活の一部として自然に溶け込み、多くの仲間がそれぞれの立場でロータリーライフを楽しんでいました。

しかし近年、プログラムやプロジェクトの増加により活動が複雑化し、「楽しさ」が薄れてきてはいないでしょうか。会員同士のコミュニケーションが減り、退会者が増えていると感じる場面も少なくありません。今こそ原点に立ち返り、「楽しさ」「仲間との時間」「人間味のあるロータリー」を取り戻したいと考えます。

そして、自クラブをインパクトのある、強い魅力的なクラブに育てていきましょう。

現在、地区の財政状況は厳しさを増しています。

各クラブにおいても、例会費の高騰や円安の影響により年会費の値上げが難しく、例会回数を減らすなど、さまざまな工夫を重ねている状況ではないでしょうか。

一方で、地区活動の充実を図る中、会議や委員会活動が増加し、会場費や登録費などの負担が結果として、各クラブに重くのしかかっている側面も否めません。

今後は、活動の意義を大切にしながらも、効率的で無理のない運営方法を模索していくことが必要です。

地区内事業については、必要なものはしっかりと残し、割愛や縮小が可能な部分は見直し、無理のない持続可能な形へと進化させてまいります。

スマートとは、「賢い」「手際がよい」「恰好よい」という意味もあります。智恵を出し合い、洗練された簡素化を進めながら、共に新しいロータリーの姿を築いていきましょう。



【地区数値目標】

①会員数

- ・ロータリークラブ（RC・RSC）
各クラブ2名純増
地区大会までに各クラブ1名以上増員
- ・ローターアクトクラブ（RAC）
各クラブ1名以上純増
- ・新クラブ設立
RC・RSC・RAC・IAC 新設の積極的推進

②ロータリー財団寄付

- ・年次基金：150ドル／人
- ・ポリオプラス基金：30ドル／人
- ・恒久基金（ベネファクター）：各クラブ1名以上
- ・ポリオ・プラス・ソサエティ（PPS）：現PPS会員数＋各クラブ1名以上
- ・ポール・ハリス・ソサエティ（PHS）：地区100名以上を維持

③米山記念奨学会寄付

- ・会員一人当たり 25,000円
普通寄付：5,000円
特別寄付：20,000円

④My ROTARY 会員登録

- 全会員の90%以上 登録



【地区行動目標】

① クラブ優秀賞へのチャレンジ

国際ロータリーが定める目標の中からクラブが任意で選び、達成することで、その年度の優れた活動を称える賞です。クラブの活性化と地域社会・国際社会への貢献を促進します。

今年度も地区内すべてのRC、RACが受賞できるよう取り組んでいきましょう。

② 会員維持率向上と増強

会員増強と維持は、今年度も最重要課題です。ポイントは「増強は委員会任せにしない」ということです。会員一人ひとりが増強委員長という意識を持っていただくことが成功の鍵になります。また、退会防止の最大の対策は「例会が楽しいこと」です。参加して良かったと思えるクラブ体験が会員維持に繋がります。地域に合った新しいクラブの形づくりも、ぜひ前向きに検討してください。

③ ポリオ根絶のためのプロジェクト

ポリオ根絶は、ロータリーが世界に誇る最優先事業です。地区では、世界ポリオデー（10月24日）に合わせてポリオ根絶イベントを開催します。今年で3年目となる、地区の大切な行事です。ぜひ多くの会員の皆さまに参加していただけるようお願いします。

④ 公共イメージの向上

ロータリーのイメージは、広報だけで作られるものではありません。会員一人ひとりがロータリーを楽しんでいる姿が、地域社会に一番伝わります。その結果が、信頼や会員増強にもつながります。あわせて、ロータリーロゴの正しい使用についてもご協力をお願いします。

⑤ 青少年育成事業の推進

未来を担う若者の育成は、ロータリーの大切な使命です。インターアクト、青少年奉仕、RYLA、青少年交換など、それぞれのクラブでできる形で支援と協力を続けていきたいと思えます。

⑥ ローターアクトクラブの活性化

ローターアクトクラブは、ロータリーの未来そのものです。スポンサークラブとしての関わりを大切にしながら、奉仕活動や親睦活動を一緒に楽しんでください。地区内の交流会や、RAC合同ガバナー公式訪問も実施しますので、ご理解とご協力をお願いします。



⑦ My ROTARYの活用と「ロータリーの友」

地区ではMy ROTARYの登録率は高いのですが、「登録したまま使っていない」という声もよく聞きます。情報収集ツールとしての便利さと利点を共有してください。また「ロータリーの友」も、冊子・電子版ともに内容が充実していますので、積極的に活用してください。

⑧ RLIへの積極的参加

RLI (Rotary Leadership Institute) は、ロータリーで最も体系的なリーダー育成プログラムです。参加された方は、必ずクラブに良い影響を持ち帰ってくれます。将来のクラブリーダー育成のためにも、積極的に参加をお願いいたします。

⑨ メークアップの奨励

他クラブへのメークアップは、学びと刺激の宝庫です。卓話、例会運営、人との出会いなど、得るものがたくさんあります。オンラインも活用しながら、ぜひ積極的に他クラブを訪問し、ロータリーを楽しんでください。

⑩ ロータリー希望の風奨学金支援

「ロータリー希望の風奨学金」は、東日本大震災の災害遺児を支える大切な事業です。地区公式訪問例会では、一人1,000円の任意寄付をお願いしています。趣旨をご理解いただき、無理のないご協力をお願いします。

⑪ 国際大会への参加

今年度の国際大会は、2027年5月22日～26日、ドバイで開催されます。なかなか訪れる機会のない場所です。国際ロータリーを肌で感じる絶好の機会ですので、ぜひ参加をご検討ください。

⑫ ICC（国際共同委員会）の活用

ICCを活用し、国際理解と平和推進を進めていきます。今年度はウクライナ地区と協議を行い、支援内容を決定していく予定です。国際奉仕への関心を高めていきましょう。

⑬ パートナーシップの推進

最後に、クラブ単独ではなく、地域社会、他RC、RSC、RAC、IACと連携することで活動の幅は大きく広がります。人間的・職業的成長、そして国際的なつながりを深める一年にしていきましょう。



実行委員長のご挨拶

国際ロータリー第2820地区
地区チームラーニングセミナー実行委員長

古澤 諭 (しもだて紫水RC)

2026-2027年度RI第2820地区役員・委員に就任される皆様 地区チームラーニングセミナーへ参加いただき感謝申し上げます。はじめに、故藤木ガバナーエレクトの急逝に伴い笠倉ガバナーエレクトに引き継ぎました。地区の役員・各クラブの会員の皆さまには、大変ご心配、ご配慮いただきありがとうございました。

さて、本セミナーは笠倉ガバナーエレクトが1月に米国オーランドにて開催された国際協議会に参加しRI会長オラインカ・ハキーム・ババロアの指導のもと学んだことを踏まえ、笠倉ガバナーエレクトの方針を皆様にお伝えする機会となります。地区役員・委員の皆様が共通認識をしていただき第2820地区の各クラブの活動の一助になることを望みます。

おわりに、ご出席をいただきました 瀬戸隆海ガバナー、パストガバナーの皆さま、そして、地区ラーニングファシリテーター大高司郎様ご指導よろしくお願ひいたしまして歓迎の挨拶といたします。



地区チームラーニングセミナー歓迎のご挨拶

国際ロータリー第2820地区
ホストクラブ会長

高田 昌明 (しもだて紫水RC)

国際ロータリー第2820地区の伝統を築いてくださいました諮問委員の皆様、ガバナー瀬戸隆海様、地区ラーニングファシリテーター大高司郎様、そして地区役員、委員の皆様、故藤木章吉氏の意志を継いだ笠倉年度に向けて地区チームラーニングセミナーにご参集いただき、ホストクラブを代表して心から歓迎と御礼を申し上げます。

私が入会前の萩原パストガバナー以来二人目のガバナー輩出となります。ご期待に応えられるよう第5分区の皆様のご支援をいただきながら、ホストクラブ全員で取り組んで参ります。

地区役員並びに委員の皆様のご支援を賜りRI会長メッセージの『持続可能なインパクトを生みだそう』が実現され、笠倉年度が順調に遂行されますよう、お力添えをお願いする次第です。

何分不慣れな為至らない点多々あるかと存じますが、ロータリーの友情に免じてご容赦いただきたいと思ひます。ご参加の皆様にとって実り多いセミナーになりますように祈念いたしまして、ホストクラブ会長の挨拶に代えさせていただきます。



2026-2027年度 国際ロータリー第2820地区 地区チームラーニングセミナープログラム (DTLS)

2026年3月8日(日)
会場：ホテルニューつたや
(敬称略)

12:30~13:00	登 録			
13:00~13:30	開会本会議	司 会	大 吉 真 琴	しもだて紫水
	点 鐘	ガバナーエレクト	笠 倉 勉	しもだて紫水
	開会のことば	実行委員長	古 澤 諭	しもだて紫水
	国歌並びにロータリーソング			
	歓迎のことば	ホストクラブ会長	高 田 昌 明	しもだて紫水
	諮問委員紹介	ガバナーエレクト	笠 倉 勉	しもだて紫水
	ガバナー挨拶	ガバナー	瀬 戸 隆 海	水 海 道
13:30~14:00	RI会長メッセージと次年度地区方針発表	ガバナーエレクト	笠 倉 勉	しもだて紫水
14:00~14:10	地区チームラーニングセミナーについて	地区ラーニングファシリテーター	大 高 司 郎	高 萩
14:10~14:20	地区における危機管理について	危機管理委員長	大久保 博 之	水 戸
14:20~14:30	地区における戦略計画について	戦略計画委員長	高 橋 賢 吾	水 戸 西
14:30~14:40	諸事お知らせ	司 会	大 吉 真 琴	しもだて紫水
14:40~14:50	分科会会場へ移動			
14:50~15:30 (40分)	各委員会での分科会（各会場） 顔合わせと今後の活動についての打合せ ・RI会長メッセージと地区方針について ・クラブへの助力、支援について ・クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナーについて ・研究会について			
15:30~15:50	休憩、本会議場へ移動			
15:50~16:30 (40分)	ガバナー補佐の方針	第1分区ガバナー補佐	茅 根 修 善	北 茨 城
		第2分区ガバナー補佐	加部東 孝 浩	大 洗
		第3分区ガバナー補佐	奥 貫 守	水 戸 東
		第4分区ガバナー補佐	関 一 美	境
		第5分区ガバナー補佐	得 能 信 人	結 城
		第6分区ガバナー補佐	市 村 文 江	つくばシティ
		第7分区ガバナー補佐	北 村 英 明	水 海 道
		第8分区ガバナー補佐	加 藤 健 司	銚 田
16:30~17:10 (40分)	総括委員長の方針	クラブ奉仕総括委員長	井 上 誠	下 妻
		職業奉仕総括委員長	安 隆 之	水 戸
		社会奉仕総括委員長	黒 木 雅 宏	水 戸 西
		国際奉仕総括委員長	村 上 義 孝	つくば学園
		青少年奉仕総括委員長	宇留野 秀 一	水 戸 南
		ローターアクト総括委員長	楠 英 夫	土 浦 南
		ロータリー財団総括委員長	大 野 治 夫	つくば学園
		米山記念奨学会総括委員長	岩 田 光 造	水 戸 東
17:10~17:20	総 評	ガバナーノミニー	清 野 宏 之	土 浦 南
17:20	閉会のことば	次年度地区会計長	小 倉 重 則	しもだて紫水
17:20	点 鐘	ガバナーエレクト	笠 倉 勉	しもだて紫水



出席者名簿

2026年3月8日(日)
会場：ホテルニューつたや

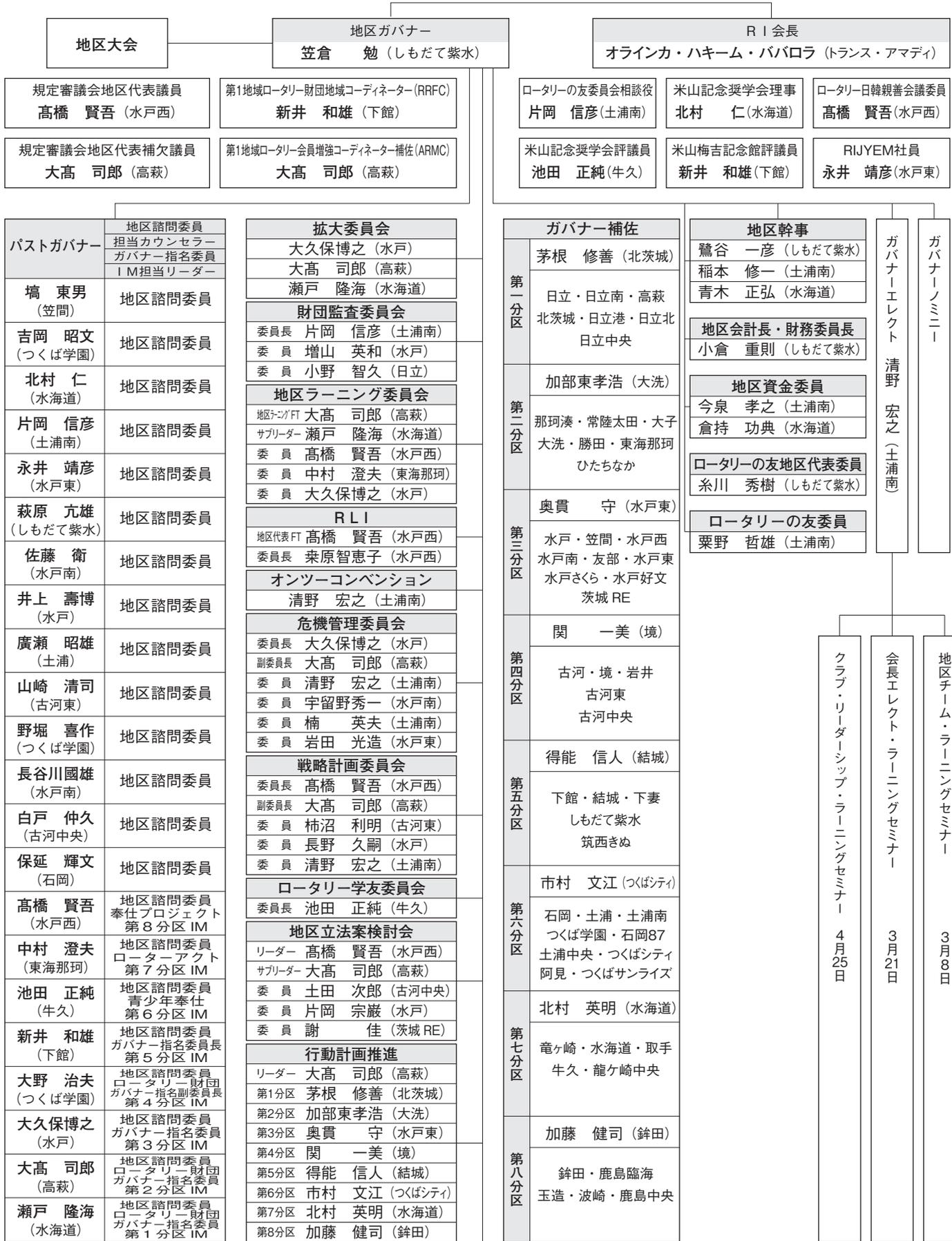
	役 職	氏 名	所属クラブ
地区諮問委員会	ガバナー（2025-2026年度）・米山記念奨学会担当カウンセラー	瀬戸 隆海	水海道
	地区ラーニングFT・クラブ奉仕担当カウンセラー	大高 司郎	高萩
	パストガバナー	塙 東男	笠間
	パストガバナー	吉岡 昭文	つくば学園
	パストガバナー	北村 仁	水海道
	パストガバナー	片岡 信彦	土浦南
	パストガバナー	永井 靖彦	水戸東
	パストガバナー	萩原 亢雄	しもだて紫水
	パストガバナー	佐藤 衛	水戸南
	パストガバナー	井上 壽博	水戸
	パストガバナー	廣瀬 昭雄	土浦
	パストガバナー	山崎 清司	古河東
	パストガバナー	野堀 喜作	つくば学園
	パストガバナー	長谷川 國雄	土浦南
	パストガバナー	白戸 仲久	古河中央
	パストガバナー	保延 輝文	石岡
	パストガバナー・奉仕プロジェクト担当カウンセラー	高橋 賢吾	水戸西
	パストガバナー・ローターアクト担当カウンセラー	中村 澄夫	東海那珂
	パストガバナー・青少年奉仕担当カウンセラー	池田 正純	牛久
	パストガバナー	新井 和雄	下館
パストガバナー・ロータリー財団総括委員長兼担当カウンセラー	大野 治夫	つくば学園	
パストガバナー	大久保 博之	水戸	
ガバナー補佐	第1分区ガバナー補佐	茅根 修善	北茨城
	第2分区ガバナー補佐	加部 東孝浩	大洗
	第3分区ガバナー補佐	奥 貫守	水戸東
	第4分区ガバナー補佐	関 一美	境
	第5分区ガバナー補佐	得能 信人	結城
	第6分区ガバナー補佐	市村 文江	つくばシティ
	第7分区ガバナー補佐	北村 英明	水海道
	第8分区ガバナー補佐	加藤 健司	鉾田
地区役員	ガバナーエレクト（2025-2026年度）	笠倉 勉	しもだて紫水
	ガバナーノミニ（2025-2026年度）	清野 宏之	土浦南
	地区幹事	鷲谷 一彦	しもだて紫水
	地区幹事	稲本 修一	土浦南
	地区幹事	青木 正弘	水海道
	地区会計長	小倉 重則	しもだて紫水
	地区資金委員	今泉 孝之	土浦南
	地区資金委員	倉持 功典	水海道
	ロータリーの友地区代表委員	糸川 秀樹	しもだて紫水
	ロータリーの友委員	粟野 哲雄	土浦南
	財団監査委員	増山 英和	水戸
	財団監査委員	小野 智久	日立
	地区RLI委員長	桑原 智恵子	水戸西
	地区戦略計画委員	柿沼 利明	古河東
	地区戦略計画委員	長野 久嗣	水戸
	地区立法案検討委員	土田 次郎	古河中央
	地区立法案検討委員	片岡 宗厳	水戸
地区立法案検討委員	謝 佳	茨城 R E	
ホストクラブ	実行委員長	古澤 諭	しもだて紫水
	ホストクラブ会長	高田 昌明	しもだて紫水
	ホストクラブ幹事	間々田 涼平	しもだて紫水



ク ラ ブ 奉 仕 総括委員長：井上 誠（下妻）			
会 員 増 強 ・ 維 持	○熊木善一（古河）	片岡宗巖（水戸）	篠原純一（境）
	杉山吉彦（下館さくらRSC）	山田広美（下妻さぬま湖畔RSC）	
クラブサポート・新クラブ設立	○鈴木敏雄（古河）	緒方惟文（水戸東）	小島信一（しもだて紫水）
公 共 イ メ ー ジ	○山崎哲男（水海道）	吉田慎二（下妻さぬま湖畔RSC）	森 久仁子（筑西きぬ）
職 業 奉 仕 総括委員長：安 隆之（水戸）			
	中村潤（古河中央）	征矢 亘（日立）	川島利市（銚田）
社 会 奉 仕 総括委員長：黒木雅宏（水戸西）			
	小野智久（日立）	根本ひろ美（水戸東）	小林裕明（水戸西）
国 際 奉 仕 総括委員長：村上義孝（つくば学園）			
WCS・グローバル補助金担当 国際交流奨学金担当	録田幸裕（水戸南）		
友 好 地 区 担 当	大谷祥寛（古河東）	川上 勉（龍ヶ崎中央）	
青 少 年 奉 仕 総括委員長：宇留野秀一（水戸南）			
イ ン タ ー ア ク ト	○菅原光雄（日立港）	百目鬼芳子（しもだて紫水）	溝口哲矢（土浦南）
	中庭 彰（水戸）	橋本壽郎（東海那珂）	大森寛之（水戸西）
青 少 年 並 び に ラ イ ラ	○石塚 徹（水海道）	広瀬貴之（つくば学園）	鈴木淑登（高萩）
青 少 年 交 換	○軽部守彦（下妻）	飯泉智弥（つくば学園）	中庭浩実（水戸南）
	清野宏之（土浦南）		
ロ ー タ ー ア ク ト 総括委員長：楠 英夫（土浦南）			
	飯田大樹（古河中央）	荒川浩信（日立南）	皆葉真治（つくば学園）
	関 康彦（水戸）	堀江俊一（下館さくらRSC）	坂東俊哉（つくば学園RAC）
ロ ー タ リ ー 財 団 総括委員長：大野治夫（つくば学園）			
ポ リ オ プ ラ ス	○倉持悦子（しもだて紫水）	木村英博（つくば学園）	鐵屋竜朗（つくばシティ）
資 金 管 理 ・ 推 進	○八木健二（日立）	瀬戸口進（つくば学園）	佐伯 優（竜ヶ崎）
補 助 金 担 当	○椿 眞里（北茨城）		
地 区 補 助 金 担 当 申 請 申 請 補	○椿 眞里（北茨城）		
	清藤 豊（水戸東）		
	池田一郎（つくば学園）		
グ ロ ー バ ル 補 助 金 担 当	○尊田京子（つくばサンライズ）	川上英則（水戸南）	
ロ ー タ リ ー 平 和 フェ ロ ー シ ッ プ	○木村英博（つくば学園）		
ロ ー タ リ ー カ ー ド 推 進	○白岩大樹（牛久）		
米 山 記 念 奨 学 会 総括委員長：岩田光造（水戸東）			
米 山 寄 付 増 進	○齋藤百合子（古河）	大野佳典（つくば学園）	
米 山 学 友	○張 朔源（茨城RE）	大塚芳行（土浦）	齋藤優美（つくば学園）
米 山 選 考	○佐谷道浩（古河東）	中山眞矢（水戸西）	前田成子（玉造）



2026-2027年度 国際ロータリー 第2820地区 笠倉年度地区組織図





クラブ奉仕担当カウンセラー 大高 司郎 (高萩)	奉仕 P 担当カウンセラー 高橋 賢吾 (水戸西)	青少年奉仕担当カウンセラー 池田 正純 (牛久)	ローターアクト担当カウンセラー 中村 澄夫 (東海那珂)	ロータリー財団担当カウンセラー 大野 治夫 (つくば学園)	米山記念奨学会担当カウンセラー 瀬戸 隆海 (水海道)
クラブ奉仕 総括委員長 ◎井上 誠 (下妻)	クラブ奉仕 総括委員長 ◎安 隆之 (水戸)	青少年奉仕 総括委員長 ◎宇留野秀一 (水戸南)	ローターアクト 総括委員長 ◎楠 英夫 (土浦南)	ロータリー財団 総括委員長 ◎大野 治夫 (つくば学園)	米山記念奨学会 総括委員長 ◎岩田 光造 (水戸東)
会員増強・維持 ○熊木 善一 (古河)	中村 潤 (古河中央)	インターアクト ○菅原 光雄 (日立港)	飯田 大樹 (古河中央)	ポリオプラス ○倉持 悦子 (しもだて紫水)	米山寄付増進 ○齋藤百合子 (古河)
片岡 宗厳 (水戸)	征矢 亘 (日立)	百目鬼芳子 (しもだて紫水)	荒川 浩信 (日立南)	木村 英博 (つくば学園)	大野 佳典 (つくば学園)
篠原 純一 (境)	川島 利市 (鉾田)	溝口 哲矢 (土浦南)	皆葉 真治 (つくば学園)	鐵屋 竜朗 (つくばシティ)	米山学友 ○張 朔源 (茨城 RE)
衛星クラブ担当 杉山 吉彦 (下館さくらRSC)	社会奉仕 総括委員長 ◎黒木 雅宏 (水戸西)	中庭 彰 (水戸)	関 康彦 (水戸)	資金管理・推進 ○八木 健二 (日立)	大塚 芳行 (土浦)
山田 広美 (下妻さぬま湖畔RSC)	小野 智久 (日立)	橋本 壽郎 (東海那珂)	堀江 俊一 (下館さくらRSC)	瀬戸口 進 (つくば学園)	齋藤 優美 (つくば学園)
クラブサポート・新クラブ設立 ○鈴木 敏雄 (古河)	根本ひろ美 (水戸東)	大森 寛之 (水戸西)	坂東 俊哉 (つくば学園RAC)	佐伯 優 (竜ヶ崎)	米山選考 ○佐谷 道浩 (古河東)
緒方 惟文 (水戸東)	小林 裕明 (水戸西)	青少年並びにライラ ○石塚 徹 (水海道)		補助金 ○椿 眞里 (北茨城)	中山 眞矢 (水戸西)
小島 信一 (しもだて紫水)	国際奉仕 総括委員長 ◎村上 義孝 (つくば学園)	広瀬 貴之 (つくば学園)		地区補助金担当 ○椿 眞里 (北茨城)	前田 成子 (玉造)
公共イメージ ○山崎 哲男 (水海道)	WCS・グローバル補助金担当 国際交流奨学金担当 録田 幸裕 (水戸南)	鈴木 淑登 (高萩)		申請 清藤 豊 (水戸東)	
吉田 慎二 (下妻さぬま湖畔RSC)	青少年交換 ○軽部 守彦 (下妻)	青少年交換 ○軽部 守彦 (下妻)		申請補 池田 一郎 (つくば学園)	
森 久仁子 (筑西きぬ)	友好地区担当 大谷 祥寛 (古河東)	飯泉 智弥 (つくば学園)		グローバル補助金担当 ○尊田 京子 (つくばサンライズ)	
	川上 勉 (龍ヶ崎中央)	中庭 浩実 (水戸南)		川上 英則 (水戸南)	
		清野 宏之 (土浦南)		ロータリー平和フェローシップ 木村 英博 (つくば学園)	
				ロータリーカード推進 白岩 大樹 (牛久)	

◎総括委員長
○委員長



地区チーム・ラーニングセミナー出席報告

御 芳 名

所属クラブ

RC

職 業 分 類

地区チーム・ラーニングセミナーにご出席くださりましてありがとうございました

2026年3月8日(日)

於：ホテルニューつたや

国際ロータリー第2820地区

地区幹事 **鷺谷 一彦**



**国際ロータリー第2820地区
ガバナー事務所**

〒308-0041

茨城県筑西市乙907-1 ホテルニューつたや3F
TEL:0296-45-4701/FAX:0296-45-4702
E-mail 26-27@rid2820.jp

